



保健室だより

令和2年11月2日(月)
鳥取湖陵高等学校保健室

保健委員会制作動画「新型コロナに打ち勝て!!」

今年度は、年度当初から我慢の日々が続いています。また、新型コロナウイルスの終息が見えない中、日々マスクをつけて感染予防に努めているみなさん、本当にありがとうございます。

これから冬に向けて、新型コロナウイルスとインフルエンザウイルスが同時に流行するのではないかとされていて、危機感を感じている人が多いのではと感じています。

両方のウイルスの共通した予防対策は、「手洗い」「マスク」「換気」です。

そこで、保健委員会の2学期の活動として、新型コロナウイルス感染予防対策動画を作成しています。「マスクの大切さについて」「手洗いについて」「換気の必要性について」をテーマに、3グループに分かれて動画を作成中です。今後の予定として、11月11日の青陵祭で全校のみなさんに見てもらった後、鳥取湖陵高校 YouTube チャンネルへの投稿を予定しています。

保健委員会の動画を参考にして、自分でできる感染予防対策をみんなで行っていきましょう。



“新型コロナウイルス感染者0をめざして!!”

【情報提供】厚生労働省ホームページより(一部抜粋)

Q:今後、季節性インフルエンザウイルスの流行期に入りますが、何に注意したらよいですか。政府は、季節性インフルエンザウイルスと新型コロナウイルスの同時流行に備えて、どのような対策を行っているのですか。

A: (1) 症状が出たら医療機関を受診しましょう

冬には、季節性インフルエンザ等、発熱や咳を起こす感染症が流行しやすくなります。こうした感染症と新型コロナウイルス感染症の症状は非常に似ています。「筋肉痛があるからコロナではない」等自己判断せず、まずは身近な医療機関に相談してください。政府では、これらの感染症が秋以降に増えても対応できるよう身近な医療機関で診療・検査や電話相談が受けられるように体制の整備を進めています。

医療機関側でも、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、こうした症状を有する患者はすべて新型コロナウイルス感染症の可能性のあるものとして対応する必要があります。そのため、例えば、検査に関しては、季節性インフルエンザに加え、新型コロナウイルスの検査についても、地域の医療機関で簡易・迅速に行えるよう、抗原簡易キットによる検査を大幅に拡充(1日平均 20 万件程度)するとともに、PCR検査や抗原定量検査機器の整備を促進し、必要な検査体制を確保します。

(2) 感染予防をこころがけましょう。

新型コロナウイルス感染予防のために実施していただいている「新しい生活様式」(例えば、マスク着用、咳エチケットや手洗い、3密を避けるなどの対策。各種店舗やオフィスで行われている対策。)は、他の感染症の感染予防にも有効です。引き続き、新しい生活様式の徹底をお願いいたします。

また新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの症状は非常に似ており、医療機関への負担を軽減するためにも、国民の皆様がご不安に感じられていることから、今年は、季節性インフルエンザワクチンの需要が高まる可能性があります。インフルエンザワクチンは、接種すればインフルエンザを完全に予防できるものではなく、最も大きな効果は重症化を予防する効果です。このため、重症化予防の観点からインフルエンザワクチンの接種が重要であり、かつ、希望される方が確実に接種できるよう、接種時期の呼びかけをしております(※)。また、過去5年で最大量(最大約6300万人分)の季節性インフルエンザワクチンが市場に供給される予定です。

なお、医療機関では、発熱等を呈する新型コロナウイルス感染の疑いのある患者と予防接種を受ける無症状の方の動線を分けるなど感染防止対策がされていますので、安心して受診してください。

(※) 10月1日以降、65歳以上の方のほか、60歳から65歳未満の慢性高度心・腎・呼吸器機能不全者等で希望される方は早めに接種を行っていただき、それ以外の方は10月26日まで接種をお待ちいただくようお願いいたします。

10月26日以降は、医療従事者や乳幼児(生後6か月以上)から小学校低学年(2年生)のお子さんなどの方で接種を希望される方は早めに接種を行っていただきますようお願いいたします。なお、乳幼児(生後6か月以上)から小学校低学年(2年生)は、2回接種が原則ですので、早めにかかりつけ医にご相談ください。

救命救急法講習会を開催しました

例年5月に救命救急法講習会を実施していますが、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で延期となっていましたが、9月28日と29日の2日間日本赤十字社鳥取県支部の指導員の方々にご指導をいただきながら開催することができました。

部活動代表生徒と教職員の計95名が参加し、生徒にはダミー人形を使った心肺蘇生法とAEDの演習、エピペンについて講習しました。また、教職員にはダミー人形を使った心肺蘇生法とAEDの演習、救命救急法における毛布の使い方について、エピペン使用場面を想定したシミュレーション形式での使用訓練を行いました。

両日とも、1時間30分しっかり勉強することができ充実した講習会となりました。



生徒対象講習会の様子



教職員対象講習会の様子